

対象地域		寝屋川市
実施主体	連携の拠点	寝屋川市医師会
	市町村医介連携事業（委託先）	寝屋川市

令和6年度の取組内容（予定を含む）		取組・予定
	①会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>■在宅医療の状況把握、連携上の課題抽出や検討にかかる協議会や専門部会（4月から3月、12回）</li> <li>■地域の積極的医療機関との課題抽出や検討にかかる協議会や専門部会（7月から3月、5回）</li> </ul>
	②地域の資源の把握・関係機関との調整	■難病患者、電源依存患者に対しての在宅医療資源把握のための市内医療機関全調査（9月開始）
	③急変時の対応等の体制構築	■医療機関急変時対応実態アンケート調査（1月頃）
	④在宅医療にかかわる研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ACPワーキンググループ活動への参加（4月～3月）</li> <li>■寝屋川meetup（多職種勉強会の開催協力）（年3回）</li> </ul>
⑤在宅医療の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域住民への人生会議（ACP）の講習会</li> <li>■寝屋川市内のかかりつけ医療資源マップの作成と配布（通年 1000部予定）</li> </ul>	

進捗	<p>①②行政視点と、医療機関視点をともに集約する2種類の会議を開催。現在、寝屋川市とともに現在の行政の視点からみた医療資源、連携の課題を抽出する会議をおこないながら、地域の医療資源に対してのその課題解決をすすめていく。現在は神経筋難病患者の在宅医療の実態、電源依存患者の実態調査を行っている。</p> <p>③現在在宅医療患者の入院は難病患者を除き比較的良好に運営されていると把握しているが、さらなる課題抽出のために実態調査を行う。</p> <p>④地域の小規模通いの場での寝屋川市高齢介護室内のACP普及活動に協力。</p> <p>⑤かかりつけ医療資源マップの作成と配布</p>
----	---

課題	<p>積極的在宅医療機関が当エリアには9箇所と多いが、実際にはさらに多くの医療機関が在宅医療に関与している。在宅療養支援診療所以外の在宅医療を支える力との連携を更に深めていきたい。そのための、24時間体制の診診連携をすすめていきたい。</p>
----	---